

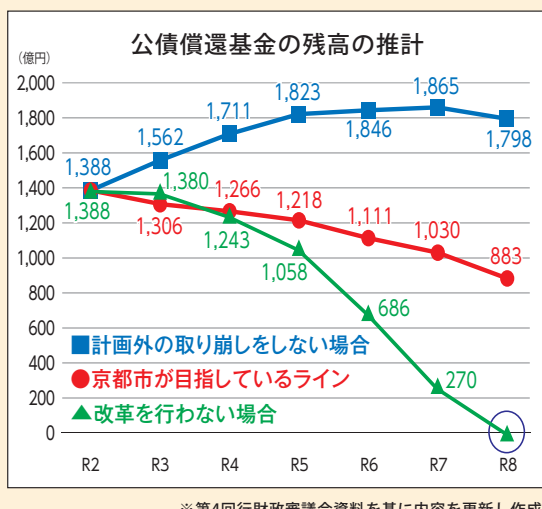
令和3年度 当初予算は1兆8,876億8,900万円

全会計の予算規模

一般会計	1兆5億600万円
特別会計	6,254億2,500万円
公営企業会計	2,617億5,800万円

今後さらなる見直しが必要となる試算表（公債償還基金の残高の試算）

京都市は、公債償還基金（市債を返済するための貯金）を、すでに計画外に823億円取り崩しています。それを前提に、今後、何も改革を行わなければ▲のラインのように、令和8年に公債償還基金は枯渇し、市民負担が増加せざるを得ない「財政再生団体」となることが確実です。現状●のラインを京都市は目指すとされていますが、決して十分ではありません。市民生活とのバランスを取りながらも、「財政再建」を成し遂げなくてはなりません。



※第4回行政審議会資料を基に内容を更新し作成

『京都市財政』は毎年赤字!!

令和3年度収支不足・公債償還基金の取崩しの状況

歳入 (一般財源収入)	4,359億円
歳出 (必要な一般財源)	4,595億円
財源不足額 (必要な一般財源)	△236億円

令和3年度の一般会計の歳入、歳出の差引きは、236億円の収支不足となりました。(毎年、報告される決算においては、会計上、黒字、実質は赤字の状況)

京都市はこの収支不足の穴埋めをするために、公債償還基金の取崩しをはじめ、本来すべきではない財政運営手法を行っています。一方で、このコロナ禍の中、市民生活への負担やその他の影響を最小限にすべきとの思いで、本来好ましくない財政運営手法による令和3年度の予算案に対し、自民党議員団は賛成し、市会としても可決しました。(共産党は反対=会派の考えがあるということは認識しているが、このコロナ禍において、極めて、無責任だと言わざるを得ない)

京都市の財政は今後、令和7年までに760億円もの、巨額の財源を捻出せねばなりません。市民生活への負担や影響も考慮しながら、京都市財政が持続可能なものとなるべく、自民党京都市会議員団はしっかりと責任を果たしてまいります。

自民党京都市会議員団が提言し、実現した主なコロナ施策



新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、京都市は、感染拡大防止に加え、市民生活の下支え、京都経済の回復を念頭に置いた様々な対策を行ってきました。

令和2年度新型コロナ対策補正予算3,370億円

我々、自民党市会議員団は、京都市会における第一党である責務を果たすべく、国、府とのパイプも十分に活かしながら、様々な施策を提案して実現させてまいりました。今後とも、市民の皆様のワクチン接種も含め「実現力」のある責任政党自民党京都市会議員団に、引き続き、皆様のお声をお寄せ下さい。



京都市独自の事業者支援が必要である。構築すべきだ！

自民党議員団のご提案を真摯に受け止め、今回の提案に至りました。(3月12日 予算特別委員会において)



京都市中小企業等再起支援補助金 15億円

個人10万円・法人15万円／売上▲50%減
時短要請外の幅広い事業者向け／補助率3/4

京都市中小企業等緊急支援補助金の創設、充実等 5億円⇒10億円⇒25億円

京都市文化芸術活動緊急奨励金の創設、充実等 5,000万円⇒1億円⇒3億円

PCR検査等の充実 3億9,100万円

※特に、妊婦を対象としたPCR検査費用の支援は、本市が他都市に先駆けて実施。

医療機関に対する支援金の創設、充実 12億2,900万円

年末年始診療への支援金 6,000万円

営業時間短縮協力金、緊急事態措置協力金の創設 →申請受付期間の延長も実現!! 18億1,000万円

全国初 濃厚接触者の受入施設(ホテル)の整備

大阪より一ヶ月早く 住民票等の発行手数料の免除

中小事業者に対する固定資産税等軽減措置への対応

3回目 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

「京都市新型コロナウイルス感染症対策支援支え合い基金」の創設

コロナ禍の厳しい状況を鑑みて

京都市会議員66名全議員の報酬等を削減し、1億円の財源を捻出。(支え合い基金に積立)

予算特別委員会において以下の質問を致しました(一部抜粋)

第一分科会

- 行財政改革の内容及び、更に改革を進めるため、財政の厳しさを職員と共有し、誠実な財政運営を行うため、「改革」の中身をより一層精査すること
- 財政再生団体に陥る危うさを、市民や議会に分かるように説明すべき
- 再エネ普及拡大に向け、住宅の状況や補助実績を踏まえた制度の見直しを!
- より安く、よりエコに!京都市の施設をはじめ、照明は全てLED化を
- 今年度が最終年度である「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画における目標達成状況及び来年度以降の推進についての考え
- 3.11から10年。東日本大震災を教訓として、市民の安心のための消防を!



救済活動をする京都市消防(東日本大震災)

第二分科会

- 伏見区西部第四地区、第五地区における土地区画整理事業を着実に進める必要性
- 住む人を呼び込む街づくり。役割を終えつつある改良住宅は発展的に解消して、住民の意思を反映し更に民間活力を導入
- 良質な宿泊施設を増加させ都市格を向上させるよう取り組む必要性
- 作るだけでは駄目!避難行動要支援者名簿を条例化によって、実際に災害が起きたときに活用できる準備をしっかりと!
- 大切な敬老乗車証制度。持続可能な制度とするための本格的な議論
- 読書バリアフリー法も踏まえて電子図書館の導入を検討する必要性
- 地域に開かれた施設として学校歴史博物館の校庭部分を地域の子供の遊び場として開放する考え



災害時における避難体制の充実

第三分科会

- 市バスは、黒字路線と赤字路線が一体となって営まれていることを根底に据える必要性
- 府が主体で策定する水道広域化推進プランにおける本市の立ち位置及び同プランが市民に過度な負担とならないよう取り組む必要性
- 伝統産業の振興。厳しい業界の現状を踏まえて和装産業を守り抜く決意!
- 市街化調整区域における産業用地創出のための特例許可制度の概要
- デジタルトランスフォーメーションの推進。中小企業の生産性向上と新たな収益のための取り組みを!
- 森林政策が前進! 4月から「木の文化・森林政策監」と専任部長を新設置



市民の足を守る生活路線

東山区 平山たかお	山科区 富 きくお	下京区 吉井あきら	南区 下村あきら	南区 やますまい子	南区 椋田 隆知	南区 しまもと京司	右京区 田中たかのり	右京区 森田 守	右京区 井上よしひろ	西京区 田中 明秀
西京区 西村 義直	伏見区 繁 隆夫	伏見区 橋村 芳和	北区 みちはた弘之	北区 山本 恵一	上京区 中村三之助	上京区 寺田 一博	左京区 さくらい泰広	左京区 豊田 恵美	中京区 津田 大三	中京区 加藤 昌洋

私たち自民党市会議員団に
皆様のご意見やご要望をお寄せください。

自民党
京都市会議員団



TEL 075-222-3718 FAX 075-257-3091
〒604-8571 京都市中京区河原町御池上ル
http://jimin-kyoto.jp/ Eメール jimin3@nifty.com